

第1回「まちづくり懇談会」概要

開催日時：平成21年2月6日10：30～

開催場所：保健福祉センター

【企画財政課長（司会）】

これより「まちづくり懇談会」を始めさせていただきます。進行役を務めさせていただきます、企画財政課長の水川でございます。よろしくお願いいたします。はじめに、本日出席しております、市長及び市の関係者を紹介させていただきます。まず、横内公明葦崎市長です。続きまして、子育て支援を担当しております、長坂福祉課長です。次は、保健指導等を担当しております、守屋保健課長です。それでは、ここで、横内市長からごあいさつをさせていただきます。

【市長】

本日は、第1回目のまちづくり懇談会ですが、「子育てサロン銀河鉄道」のみなさんにお集まりいただき、誠にありがとうございます。本日は、みなさま方が、子育て・子育て支援について悩んでいることなどありましたら、忌憚のないご意見をいただけたらと思っております。一時間という短い時間ではありますが、みなさまには一言でも結構ですので、必ず発言をお願いいたします。

【企画財政課長】

はじめに、「子育てサロン銀河鉄道」の今までの活動状況等について、ご紹介をお願いいたします。

【参加者（サロン世話人）】

私は18年度よりボランティアで参加しております。「子育てサロン銀河鉄道」は、平成13年4月より毎月1回開催しており、子育ての相談とか、子育てについての学習の機会とか、そのなかでの親子の仲間入り、交流の場として活動しています。活動については、会員の中のお世話係が計画を立て、チラシを作るなど、会の運営を行っています。また、会員を固定してしまうと、来られないなど問題がありますので、会員を固定せず月に1回自由参加で開催しています。18年度からは、サポート役を募集し現在にいたっています。活動は、毎年4月に年間計画をつくりそれにより、毎月第2水曜日に開催しております。また、各回テーマに合った講師を依頼し、市広報やチラシで呼びかけており、参加者は、多い月は、23～24人くらいで、冬場は子供が風邪をひいたりするので少ない月は4～5人ということもあります。この会もだんだん知られて盛り上がってきましたが、サークルと違い、いつ

でも、自由参加できるということを、知らないお母さん方が多いので、もう少し呼びかけていかなければと考えております。

【市長】

それは、ごくろうさまです。13年からやっているのかすごいなー。長続きしていますね。それでは、みなさんにご意見・ご質問を伺いたいと思います。

【参加者】

3人の子育てを行っております。1点だけ遊び場について意見を言わせていただきます。公園とか子育て広場とかありますが、冬場とかのために屋内の施設をもっと充実していただきたいと思います。大きいので言えば屋内アスレチックなど、小さいところでは1坪くらいの場所でも公共にあれば、ずいぶん助かると思います。それから、支援センターや児童館もありますが、支援センターでは午前中だけと時間的に制限されておりますし、3歳くらいになると走れないなどの制約があるので、もっと大きくて休日に使える屋内の遊び場があればと思います。

【市長】

屋内では、児童館とか支援センターしかないな……。屋外では、中央公園の遊具を大々的に変えようかと思っております。中央公園の遊具は、公園の西側にありますが、昭和61年に整備して20数年経っているので、来年度は、市制施行55周年となりますので、その記念事業として、中央公園の遊具を整備しようと思っております。でも、屋内での計画は、今は無いですけど、将来的には、図書館などを作るときに一緒に作るということを考える機会があると思うので、検討していきたいと思います。

【参加者】

やはり雨の日とかは、外で遊べないので家に居がちです、屋内の施設があったらいいなと思います。

【市長】

参考にさせていただきます。

【参加者】

このサロンを知りませんでした、幼稚園にも連絡していただけますか。

【参加者（サロン世話人）】

現在は、支援センターや児童センターにはチラシを置いてありますが、保育園や

幼稚園に聞き、要望があればチラシを配布するようにします。

【参加者】

予防接種の補助があったりして良いと思います。私の家では、インフルエンザの予防接種を受けずにいて、今回はインフルエンザにかかってしまいましたが、日頃から健康の維持予防にこころがけており、医療費はほとんどかかっていません。そういう家庭には、補助はありませんか。

【市長】

病気に罹らるのが一番良いですね（笑い）。（インフルエンザの）予防接種に補助を出すようにしました。

【保健課長】

インフルエンザの流行が関東地方で早かったこともあり、インフルエンザの補助金を秋口にはじめました。もちろん、病気に罹らないことが一番であります。学校・家庭での予防が重要でありますので、日常心がけていただきたいと思います。

【市長】

手前味噌で申し訳ないですが、蕪崎市は小学校6年生まで医療費が無料化です。それも窓口で無料化です。予防の方は予防で、熱心に行っていただきたいと思いません。また、妊婦さんについても今蕪崎市は5回無料健診としておりますが、来年度は国の補助分が9回増えて14回無料にするよう予定しております。子育て支援については、国も相当考えておりますが、なかなか・・・、みなさんもっと子どもさんを産んでください。

それから、蕪崎は学校教育の面ではハードの整備はすばらしく小・中・高等学校市内は全て耐震化されておりますので、安心していただきたいと思いません。

【参加者】

子供の医療費については、6年生まで無料化されて助かっております。雨の日の遊び場という話がでたのですが、私の住んでいる若宮の近くに公園がありません。公園で遊ばせるには、車で連れていかなければならないし、幼稚園は、時間中は遊ばせていただけますが、時間外は遊べません。私がこどもの頃は、親は家の周りですべて一日中遊ばせていたし、私も遊んでいたという記憶がありますが、今はいつもうちの中で遊んでいて、かわいそうだなと思っております。いつでも家の近くで友達と遊べる小さな公園があればと思っております。

【市長】

韮崎町内では、本町にふれあい公園がありますが、他には芝生はないが文化村がありますが、確かに最近の交通事情やなんか考えると、なかなか外で遊べなくなっていますね。昔は車の数も少なくてもどこでも遊べたし、子供も多くて一緒に遊んだけれど、今の子供は、道路で遊ぶ訳にはいかないし、いろんな事情で外では遊べないし、公園は必要かもしれませんね。すぐに実現できるかはわかりませんが、努力していきます。

【参加者】

私には、高校1年生から小学校6年生まで子供がおりますが、高校1年生の子が生まれた時と、小学6年生の子が生まれた時の子育て環境はとても違って、高校1年生の子のときは、子育てのサークルもありませんでしたが、小6の子のときは、サークルや支援センターがあり、とても子育てしやすくなりました。また、現在は「銀河鉄道」などのサークルがあり、子育て中の仲間の輪が広がっていく場が与えられ、とても良くなったと思います。(医療費)窓口無料化ということで、請求に市役所へ行ったりする時間が節約されて、良くなったと思います。特に働いているお母さんたちは、とても感謝していると思います。インフルエンザの予防接種ですが、こどもは2回接種しなければならないので、1人当たり5～6千円かかり、子どもが多いと負担が大変なのですが、予防の段階で補助をいただくことで予防接種が受け易くなり助かっております。

【市長】

ところでみなさんの健康保険は何でしょうか、社会保険もそんなに裕福ではないでしょうが、国民健康保険は市町村で運営していて、これがどこでもお金がなくて困っており、何年かに1回値上げせざるを得ない状況になっております。国は医療費を抑えるために、地域の実態も考えずに医者数を減らすなどの政策を行うなどしていますが、現実には高齢化しているということもあり、医療費が増えて、医療費を含む福祉の方にお金がかかりすぎています。そういった意味でも予防接種を受け病気に罹らないようにするとか、保健課で行っている特定健診とかでメタボを防止する事業など色々していますが、とにかく病気に罹らずに医療費を下げる必要があります。佐久市に「ピンコロ地蔵」というのがありますが、「ピンピンしてころっといく」つまり「病気にかからないでころっといく」ということの地蔵さんですが、市民に向かって、言うてはいけないことかもしれないけれども、「健康でいて長生きして病まないでころっといく」ことはありがたいことではあります。ところで、健康寿命というのがありますが、これは、身の回りのことを全部自分でできる人の状態をいうのですが、理由はよくわかりませんが、山梨県はかなり高い方でなんですよ。

【参加者】

今日は市長さんとみなさんの話を聞きたいと思って参加しました。私は今、子供のサークルのリーダーを務めさせていただいております。家が南下条なので、支援センターも北東児童センターも利用させていただいていて恵まれています。子供の医療費無料化が小学校6年生までになったのがとても良かったです。

【市長】

これには、みなさんに感謝されております。この前歯科医師会との会合があり会長さんに言われたのですが、「市長さん窓口無料化は良いですね、双葉のお客さんに言ったのですよ、韮崎は窓口で無料となっておりますよって」、まあそのようにみなさんに喜んでいただいております。

【参加者】

無料になったのはすごくありがたいですが、それに加えて、病気にならないための指導みたいなこととか健康や食生活とかの指導をしていかないと・・・、ちょっと風邪をひいたからすぐお医者さんにかかるようになると、医療費の無駄が出てくるし、後手々となってしまうと思うのですけど。

【市長】

それについては、どうですか。

【保健課長】

今、食という話がでましたが。病気にならないためには、食というものがとても重要なことでもあります。たとえばカロリーが高い食事を見直すとか、地元で採れる野菜を使った食事にするとかですが、今年度食育推進計画をつくりましたので、学校や地域に呼びかけて推進していきます。また、フォーラムなどを開催するなどして、食育を推進していこうと計画しております。

【参加者】

「よってけし」は別ですけども、山梨は野菜の栽培は多いと思うのですけれども、スーパーに行っても他県のものばかりなんです。ちょっとおかしいと思うのですけれど。

【保健課長】

専門でないですが、山梨は、気候の問題とかで野菜の生産量が少ないのかもしれないですね。

【参加者】

スーパーの種類が少ないというか、私は長野出身なのですが、長野のほうがずっと物価が安いように感じます、それは、スーパーの競争が少ないからだと思うのですが。

【市長】

他県の状況を知らないから何ともいえないのですが・・

【参加者】

山梨は高いと他県の方はおっしゃいます。

【市長】

他県から運んでくる野菜が多いのかな・・。流通についてはよくわからないけれど、韮崎市には、耕作放棄地がいっぱいあるので、自家菜園でも作ればいいのだが・・、そうですか、山梨は物価は高いですか・・。

韮崎市は、義務教育の給食は全て自校方式で暖かいご飯を、しかもなるべく地域の野菜を使うようにしておりますが、今地元の食材の割合はどのくらいかな・・。

【保健課長】

米飯は、学校給食では週3回ですが、全て地元産の米を使っております。野菜につきましては、種類や量の問題もあり、どうしても地元だけということができなくて買わなければなりません。それでも学校では、できるだけ地元産品を取り入れる努力は行っているようであります。

【参加者】

私は、25年前から保育士を行っていきまして、韮崎市の保育園の給食の代替とか産休代替を行っております。今は、児童センターの日々雇用として勤めているほか、子育て支援センターなどのボランティアを行っております。それでわかるのですが、保育園の給食では、地産地消をかなり進めております。また、小中学校の給食の先生方も地元の食材を使用するため早い人は、6時頃から出勤して食材を洗ったりしております。また、児童センターでは、4つ全てのセンターが同じサービスが出来るよう全職員が話し合っておりますし、多くの児童に利用してもらおうと色々なことを計画しております。児童センターを利用したことの無い人も、利用が出来るようにしなきゃいけないという課題がありますが、先生方もいろいろ考えておりますのでみなさんも知り合いの方に児童センターへの参加を呼びかけてください。支援センターでも子育てサロンと同じようなことを企画しておりますので、ぜひみなさんも参加してください。これからも子育て支援に協力していきたいと思っています。

【福祉課長】

児童センター・子育て支援センターの行事につきましては、毎月市報に掲載しますので、利用するようお願いします。また、4ヶ所の児童センターについては、どこを利用していただいてもかまいませんので利用してください。

【市長】

銀河鉄道さんの活動は、市民会館が多いということですか。

【参加者】

中央公民館が事務局となっておりますので、会場は市民会館を利用することが多いですが、企画内容によっては、市外へ出かけたり中央公園で遊んだりとかということもあります。こういう機会を利用して、家にこもっていないで出てきていただいて、そこで交流をしたり仲間づくりをしたりしていただければいいかなと思っています。誰からも学ばないで自分だけで子育てをしていると、どうしても色々な問題も出てきたりします。こういうところに参加すると、お世話役さんが色々なアドバイスをしてくれるので勉強になったり、自分の子育てについて振り返る機会になり、問題に気付いたりすることがあるのでとても良いと思います。また、託児をしていただいて、お母さんがリラックスをした気持ちになることで、こどものため家族のために、なにか作ってやろうという意欲を持っていただければいいかなと思っています。

【市長】

そうですね、昔は大家族で、おじいさんおばあさんなど3世代位が同居していて、いろいろ教えてくれたけど、今は核家族となって親と離れて子育て方法を知らない人もいるので、こういうサロンに参加していただければと思いますね、このサロンを知らない人には、もっと宣伝して参加者を増やしてください。

【参加者】

このような活動に参加し仲間ができることで、生活の広がりにもつながっていただければ良いと思います。

【市長】

なにか子育てで悩みとかはありますか。

【参加者】

要望ばかりで申し訳ありませんが、先ほど健康づくりの話がでましたが、市営プールは屋外ですね。

【企画財政課長】

民間のプールが出来たり、修繕をするのに相当な経費がかかるなどで、今年度より営業しておりません。

【参加者】

蕨崎市に市営で屋内のプールが欲しいです。

【参加者】

屋内プールは、「ゆーぷる」にありますね。

【参加者】

「ゆーぷる」は、よく行きますけど、競泳とかできませんので。

【市長】

競泳のできるプールですか。また、お金の話で申し訳ないですが、中央公園の改修とかでプールまで手が回らないですが。

【参加者】

今のところ南アルプス市とか北杜市へ行っていますけど。

【市長】

お子さんは何歳ですか。

【参加者】

5歳、3歳、0歳です。

【市長】

学校へ行ってない……。それに、家族で泳ぐには、学校のプールというわけにはいかないしな……。

【市長】

清水先生（中央公民館長）何かご意見がおありですか。

【企画財政課長】

清水先生には、私たちの所管である男女共同参画推進で非常にお世話になっていきます。そのことも含めてご意見をお願いします。

【中央公民館長】

（「子育てサロン銀河鉄道」のお知らせや活動を掲載している、）中央公民館だよりを発行させていただいておりますが、なにせ発行部数が少ないためご迷惑をおかけいたしております。さきほど医療費がかからない場合は、なにかごほうびはいただけないかというお話でしたが、私の経験では、私は共済組合でしたが、年度末に救急箱をいただいたり、色々なことをしていただきました、今はどうなのですか。

【企画財政課長】

今は、無いです。社会保険、共済組合もそうですけれど、今は病気にかからなかったら、それだけお金も使わないしそれが良いことだということで、配らなくなりました。昔は配りましたが、今では配ることによって、保険料が上がってしまいます。国保は現在も配ってはいますが、ささやかなものでしかありません。

【中央公民館長】

それから遊び場の話がありました。市内に新しく遊び場をつくるということはとても大変ですが、小中学校に体育館がありますね、学校では学校開放というのをやっておりますので、「子育てクラブ」というような名前をつけて指導員の方がいますので、その方に相談しますと、今はほとんどスポーツ少年団が使っているだけでしょうから、空時間もあると思いますので、グループを作って申し込みをしたらいかがでしょうか。また、素人考えですが、市営体育館というのは、子供たちのために開放してくれるということはないでしょうか。

【企画財政課長】

体育館では、遊具もありませんし、今の段階ではそういう用意がありません。

【中央公民館長】

特に遊具は必要ないのです、走り回ったり、遊ぶところがあればいいんですが。それから、現在私は、地域の区長をしているのですが、地区に遊び場が欲しいということ、皆さんのような若い人が、区長に対して手をあげてみてはいかがでしょうか、遊休地などを遊び場として提供してもらえるかもしれません。私どものところでは、広い場所があるので今度手をつけようかなと思っております。

【企画財政課長】

なにか他にご意見ありますか・・・。無いようですので・・・。

本日みなさまがたからいただいたご意見は、文字にして、市長や担当課の職員がよく内容を検討し、今後の市政運営の参考とさせていただきたいと思っております。最後に市長さん、一言感想をお願いします。

【市長】

本日は、お忙しい中お集まりのうえ、貴重なご意見ありがとうございました。まちづくりは、行政だけではできません。市民のみなさんと協働・協力していくのが重要であります。今、地方自治体は財政がとてもしんどい状況ですが、市の役人だけで考えてまちづくりを行うとどうしても偏ってしまいます。市民が満足するまちづくりのためには、市民を巻き込んでいかなければならないと私自身思っております。このサロンのようにボランティアで子育て支援しているような方々がとても重要であると思っておりますので、市としても、このサロンを続けていっていただきたいと存じます。また、この「子育てサロン銀河鉄道」を、市民に広くお知らせして、子育て中のお母さん方がもっと参加できるように努力していきたいと思っております。本日は、どうもありがとうございました。

当日のテーマ「子育て・子育て支援」についての懇談後の話題（質問）については、次のとおりです。

問1 道水路の修繕等について、市にどのように要望すればよいのか

答1 次の①～④いずれの方法でも可能です。

- ① いつでも市役所にご連絡いただく（来庁・電話・メールいずれも可）
- ② 地区要望として区長を通じて提出していただく（年1回）
- ③ 私の提案カードで郵送していただく（提案カードについては、市主要施設の設置及び年2回広報にて配布）
- ④ 市ホームページの意見欄に記入していただく

問2 各地区で収集した資源ゴミを売却して得たお金は、どのような使われ方をされているのか

答2 ゴミ処理費の一部とさせていただきます。（詳細は次のとおりです）

資源ゴミの処理費 (円)

	収集経費 A	販売費 B	合計 (A-B)
20年度 (見込)	15,328,950	6,582,000	8,746,950
19年度	13,628,131	7,456,969	6,171,162

参考：一般ゴミの処理費 (円)

	処理経費 A	収集経費 B	その他 C	合計 (A+B+C)
20年度 (見込)	457,795,000	39,480,000	3,900,000	501,175,000
19年度	444,056,000	39,287,500	3,333,130	486,676,630